

事務事業名		大船渡市技能訓練所管理事業				☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業											
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興				事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成25 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入											
	施策名	24 雇用の創出と安定															
	基本事業名	01 働く場の確保															
根拠法令						予算科目 <table> <tr> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業</th> </tr> <tr> <td>01</td> <td>05</td> <td>01</td> <td>01</td> <td>04</td> </tr> </table>		会計	款	項	目	事業	01	05	01	01	04
会計	款	項	目	事業													
01	05	01	01	04													
所属	部課名	商工港湾部商工課															
	課長名	佐々木毅															
	係 名	労政係	電話	27-3111													
	担当者	村上智哉	内線	111													
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 技能訓練所の施設及び設備等の維持管理を行う事業である。事業費は建物損害共済の保険料と事務室に配備する自動体外式除細動器(AED)の賃借料として支出される。						全体計画(※期間限定複数年度のみ)											
						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A)	0								
							人件費	正規職員従事人数									
								延べ業務時間									
								人件費計 (B)	0								
							トータルコスト(A)+(B)							0			

1 現状把握の部(DO)										
(1) 事務事業の目的と指標										
① 手段(主な活動)				⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
前年度実績(前年度に行った主な活動)				名称		単位				
技能訓練所の建物損害共済の保険料支出 事務室に配備するAEDの配備(平成25年度から平成30年度までの長期継続契約)				ア	建物損害共済保険料支出			件		
今年度計画(今年度に計画している主な活動)				イ	AED長期継続契約件数			件		
前年度と同様				ウ						
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等				⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)						
大船渡市技能訓練所				名称		単位				
				カ	大船渡市技能訓練所面積			㎡		
				キ						
				ク						
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)				⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)						
施設の機能を良好に維持管理し、安全に利用できるようにする。				名称		単位				
				サ	施設設備不具合件数			件		
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)				シ	施設設備不具合対応率			%		
・就労の場を確保する。 ・新規に就労の場が確保される。				ス						
(2) 総事業費・指標等の推移										
				年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)
単位										
投入量	事業費	国庫支出金	千 円							
		都道府県支出金	千 円							
		地方債	千 円							
		その他	千 円							
		一般財源	千 円			40	39	51	53	
	事業費計 (A)		千 円	0	0	40	39	51	53	
	人件費	正規職員従事人数	人			1	1	1	1	
		延べ業務時間	時 間			20	20	70	70	
		人件費計 (B)	千 円	0	0	80	80	280	280	
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	0	0	120	119	331	333	
⑤活動指標		ア	件	-	-	1	1	1	1	
		イ	件	-	-	1	1	1	1	
		ウ								
⑥対象指標		カ	㎡	-	-	407.64	327.92	748.47	748.47	
		キ								
		ク								
⑦成果指標		サ	件	-	-	0	0	0	0	
		シ	%	-	-	0	0	0	0	
		ス								

事務事業ID	1599	事務事業名	大船渡市技能訓練所管理事業
--------	------	-------	---------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
昭和63年3月に気仙職業訓練協会と技能訓練所の無償貸借契約を締結し、以後、気仙職業訓練協会の負担により維持管理を実施してきた。職業訓練では機械類の操作等で危険が伴うため、万が一事故や災害等が発生した場合に備えることとしたもの。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
東日本大震災により浸水したものの建物残り、認定職業訓練補助事業を活用し、施設を原形復旧し、訓練を再開した。県立大船渡職業能力開発センターが、東日本大震災により浸水し、平成24年度に施設が解体・更地化されているが、震災により求職者が激増する中、資格取得等での技能訓練所へのニーズが高まっている。
平成26年10月から増築棟の建築工事に着手し、平成27年度4月に工事が完成した。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
特になし

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 施設設備の維持管理を充実することにより、その機能が良好な状態で利用に供されることから、安心して職業訓練に励めることで、産業人材や技能士が育成され、就労の場の確保に結び付く。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 市所有の施設であり、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 訓練生等が安心して充実した職業訓練を行ってもらうことが目的であるため、対象及び意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 適切な維持管理を行っているため、適正である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 事業を廃止した場合、施設等の破損や故障が放置されるため、施設の機能が損なわれ、充実した職業訓練の実施が困難になる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ⇒【理由】(具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業がない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 現状では、必要最小限の事業費である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 人員、所要時間を削減すると、現在の事業体制を維持できない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていない不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 市が所有する施設の適正な維持管理であり、公平・公正である。

事務事業ID	1599	事務事業名	大船渡市技能訓練所管理事業
--------	------	-------	---------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 訓練生の安全性を確保し、施設が効果的に活用されるように管理していく。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 適正な維持管理を行うことで訓練生の安全性の確保に努める。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 技能訓練所の増築を予定していることから、増築後の管理方法について、成果とコストの面から適正な維持管理が継続されるよう検討する。																							

(職 名) ※原則として施策の主管課長 (氏 名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者

商工課長

佐々木 毅

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(3) 評価結果の根拠と理由 適切な事務執行がなされている。																						
(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり											
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 適正な維持管理を行うことで訓練生の安全性の確保に努める。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
